

令和 6 年度 学校経営環境分析書

仁方中学校区 校番 1 学校名 呉市立仁方小学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な産業・伝統的文化があり学習に活用できる。 ・地域行事が盛んである。(祭り・マラソン・町民運動会等) ・ゲストティーチャーやボランティアとして学校教育に協力していただける方が多い。日常的に温かく児童を見守ってくださっている。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育にボランティアとして協力していただける方が多い。 	<p>S (強み)</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導交流や研究・研修の充実を図り、協力的・組織的に取り組むことができる。 ・1小1中で小中連携が行いやすく、系統的な取組を推進できる。 <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直な児童が多く、落ち着いて授業に臨んでいる。集団として学校行事に前向きに取り組む児童が多い。(運動会・学習発表会等) ・高学年を手本として元氣な風土ができてきた。 ・縦割り班無言掃除が定着してきた。 	内部環境	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育 <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導・生徒指導における取組の連携 ・学びの主体性の喚起 ・思考力・判断力・表現力を高めるための授業展開 ○地域の教材の開拓と活用 ○高学年を中心に <ul style="list-style-type: none"> ・学校の課題に対して主体的に考え行動する場の設定 ・縦割り班活動・委員会活動・クラブ活動の活性化 ・縦割り班無言掃除、着ベル・黙想の徹底 ・あいさつの励行
	<p>T (阻害的要因)</p> <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区によって、児童の人数や年齢構成に大きな差がある。 ・災害危険区域が多い。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育(基本的な生活習慣や学習習慣、生活上のマナー等)に対する意識の差が大きい。 ・家庭の背景が様々で、児童の心理的不安が高まるケースもある。 	<p>W (弱み)</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善(行事や取組の精選)が進んできたが、勤務時間外在校時間の削減には至っていない。教材研究の時間の確保が難しい。 ・教材・教具・備品等の整理・管理が不十分なところがある。 ・職員同士の情報共有が十分でない。 <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力・体力・精神力(レジリエンス)・自己肯定感の二極化が見られる。 ・表現力が十分でない。(表現技能・自身が不十分) ・自己評価力・規範意識が低い児童もいる。 ・遅刻児童が多い。一定数の不登校傾向児童がいる。 		<p>阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメントに基づいた実践と改善 ・基礎・基本の学力の定着 ・補充学習(スキルタイム・スマイルタイム等)の充実 ・読書活動の推進 ○防災教育の深化 <ul style="list-style-type: none"> ・実践的避難訓練の実施 ○保護者連携 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育に対する支援と啓発 ○業務改善 <ul style="list-style-type: none"> ・行事や取組の精選 ・ICT活用と共有物の整理

2 重点課題

- ① 身近な事象や生活場面からの教材開発等の推進により、主体的な学びを促し、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ② 家庭学習と補充学習等の充実による基礎・基本の学力の向上
- ③ 自己肯定感・自己有用感の向上と心の安定
- ④ 「自分の命は自分で守る」力の育成
- ⑤ 業務改善の推進